

令和 4 年 月 日

宛先（調整中）

一般社団法人国際連携推進協会
代表理事 茅本 良夫

外国人就労者入国再開に関する要望書

○要望の趣旨

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、外国人材の活用に対し、格別のご理解と様々な施策等々ご高配を賜っております事、厚く御礼申し上げます。

一般社団法人国際連携推進協会の設立趣旨に則り、外国人の方々が日本に於いて大いにその能力を発揮され、また、日本において生き甲斐を感じながら働いてもらうために各取組に努めております。

2020年の春以降日本と諸外国の往来が困難になり、多くの技能実習生や特定技能者、留学生在が来日できず日本へいつ行けるのかと不安な日々を送っており、待機期間が長引き経済的に苦しい状況が続いております。また、受入企業も見込んでいた外国人材の入国がない為、技能移転が途絶え生産効率も低下し受注量の調整を実施するなどの対応に追われ、事業計画の策定ができない状況に陥っている企業も増えております。

更には、外国人材のモチベーション低下が進み、日本以外の国へ行く事を決めた面接合格者も多数発生しており、受け入れ企業や日本語学校等の教育機関の体力も限界を迎えると思われまます。コロナ禍においても経済を動かしている他国の取り組みに比し、日本の取り組みは製造業を中心とした日本の基幹産業に対し衰弱をもたらしているのではとの危惧を強くし、外国人材の受入れ再開に向けて様々な取り組みの議論を進めていただきたく強く要望致します。

我々の団体では、成田・羽田・関西空港の近隣ホテルと提携を結び、入国前入国後のPCR検査の徹底を基本とした上で、待機期間の隔離対策の厳守を徹底しております。

昨年、ベトナムより200名以上のEPAでの方々がチャレンジ便で入国をされました。この方々は特段の事情があり入国した者だと理解はしておりますが、外国人材、技能実習生、特定技能者、留學生も個々に人生を掛けた事情は抱えており、その上で日本国に取って公益性も高いものと考えております。

コロナ感染を抑えヒトモノカネの動きを進める上で、何をどうすれば良いのかについて、早急に提示頂き、各種取り組みに反映して頂きたく強く要望致します。

何卒、早期の入国再開をご検討頂きたくここに要望書を提出させていただきます。